

天文分野の公募への 応募について

島袋隼士 (パリ天文台)

はじめに

- ・ 富谷さんが素粒子論の公募についてまとめているのを見つけて (http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~akio.tomiya/filebox/post_application.pdf)、じゃあ、天文分野のも作ってみようと思ったのがきっかけ。
- ・ 私自身の専門は天文学の分野でも観測的宇宙論（理論）
- ・ 学振以外は海外の公募にしか出したことありませんので、海外公募のみの体験談となります。
- ・ 私の経験談ですので、一つの意見として参考にしてもらえれば。
- ・ 質問等あれば、bukuro_AT_nagoya-u.jpへお願いします。

年間スケジュール

- ・ D3の四月：理研公募締め切り、国内学振PDの発行、海外学振だと締め切りの機関も。
- ・ 5月：国内学振PD締切
- ・ 9月：海外研究機関の公募が始まる。私が主に利用したのはAAS（後述）。Jrec-in、cosmo-coffee、tennetが公募情報収集にはよく使われる。あと、意外にもtwitterで公募情報が流れてくることもあるし、facebookのjob for astronomyグループにも公募情報がある。
- ・ 11月：この時期あたりから、国内の公募も活発になり、1月あたりにピークを迎え2月くらいに公募が終わり始める。

公募体験 (D3前)

- ・ D2時の1月からAAS (American astronomical society) を用いて海外の公募情報を調べ始める。
- ・ ただし、この時期の公募はD3時の9月着任のものなので、学位取得後(4月)からの着任は可能かを予め、担当者に尋ねた。
- ・ D3になる前に応募した公募は全部で3つ(UCL、KASI、コロラド大学)。KASIに関しては、自分の専門からずれているけどとりあえず応募。
- ・ UCL、KASIはskype interviewまで進むもオファーはもらえず。
- ・ オファーがもらえない場合、いわゆるお祈りメールを送ってくるところもあれば送ってこないところもある。
- ・ 当時の業績は筆頭著者論文2本、共著者論文1本。国際会議発表2本。
- ・ 上記業績で国内、海外両方の学振に応募するも、国内が不合格B、海外が不合格C。いずれも業績点が2点台と、大敗であった。

公募体験（D3時）

- ・ D3の9月に先輩の紹介でパリ天文台へ応募。ありがたいことにオファーを頂く。
- ・ 実はパリ天文台の公募はAASに掲載される前に、先輩が紹介してくれたので、（おそらく）競争は無かった。私がオファーを蹴れば、AASに公募が掲載されたとのこと。
- ・ 雇用側は公募を出す前に知り合いに「誰か良い人はいるか？」と聞く場合があるので、人脈は重要。
- ・ この時の業績は筆頭著者論文が3本、共著論文1本、国際会議発表3本。

公募体験（PD時）

- ・ PD一年目が終わる12月に公募書類を作り始めて、1月に応募し始めた。
- ・ 4箇所（MIT、ICL、メルボルン大学、清華大学）に応募
 - 👉 1月下旬に清華大学からオファーをもらう。ICLはインタビューまで進むもオファーをもらえず。他は書類段階で落ちた。
- ・ この時の業績は、主著論文4本、共著論文5本、国際会議発表10本。

公募に必要な書類

- ・ CV：履歴書。「CV, researcher, tex」で検索をすればテンプレートがたくさん落ちている。私のWEBにも例があります→ ([CV例](#))
- ・ Research interest：これまでの研究と応募先での研究計画書。大体2~3ページ。私の例に興味がある人はご連絡ください。
- ・ 研究業績：発表論文、国際研究会、国内研究会での発表。海外への公募の場合は、国内研究会は省略した。 ([研究業績例](#))
- ・ 推薦書：普通は3通必要。場所によっては2通のところも。推薦書の依頼はお早めに。
- ・ (場合によっては) カバーレター：応募先への挨拶と自己紹介。

インタビュー内容

- ・ 基本はSkypeによって行われる。
- ・ 自分の研究紹介を10分程度で。その後、研究内容についての質疑応答。
- ・ 応募先でどのような研究をしたいのかの質問。
- ・ 応募先によっては、自分の長所や短所、今後のキャリアプランについて聞かれることも。
- ・ こちら側からも何か質問はあるか？と尋ねられる。着任時期についての確認などを質問した。

オファーの決め手？

- ・ 一番は相手側が求めている研究分野であることが重要。
- ・ 相手がこちらの論文を読んでくれていた。→論文を書いて、研究内容を国際会議で発表し、名前を売ることが重要。
- ・ 推薦書。ポスドク時に応募してオファーをもらった清華大学のPI曰く、「（私のボスが）彼を強く推薦すると書いていた」とのこと。→論文を出して結果を出すこと、普段からボスと雑談したりしてコミュニケーションを図ることが大事。

オファーをもらったら

- ・ 着任時期や、給与、住居、研究費などについて尋ねた方が良い。私の場合は、年に二回程、国際研究会に派遣できる+PC支給、とのことだった。
- ・ オファーを受諾したら原則、断ることはダメ、絶対。
- ・ しかし、オファーを受諾する前だったら、条件の良いポストに行くのはO.K.
- ・ ビザ取得は早めに動き出す必要あり。ビザ申請に相手の機関から書類を送ってもらう必要がある場合、速やかに連絡を取る。

感想

- ・ 情報収集は重要。出したいと思った公募があったら応募した方が良い。
- ・ 応募しても落ちて当然、諦めずに何箇所に応募するのが大事。
- ・ 重要なのは研究して、論文を書いて、名前を知ってもらうこと。そのためには研究会に参加するのが大事。

情報収集に役立つサイト

AAS

- American Astronomical Society (AAS)
- <https://jobregister.aas.org>
- 天文業界最大の公募情報サイト。ポスドクだけではなく、ファカルティーやPh.D student、技術スタッフなど世界中の公募情報が載っている。
- 毎月1日に情報が更新される。

Cosmo-coffee

- ・ 宇宙論分野の公募情報が載っている。
- ・ <http://cosmocoffee.info> → 「job vacancies」 をクリック。
- ・ AASに比べると情報は少なめ。

INSPIRE

- <https://inspirehep.net/collection/Jobs>
- 主に宇宙論や高エネルギー天文学についての公募情報が載っている。
- Rankで「Postdoc」をFieldで「astro-ph」を指定して検索すれば天文分野の情報を見ることができる。

Tennet

- ・ 日本天文学会のメーリス。公募情報だけではなく、研究会の情報など様々な情報を見ることができる。
- ・ 天文学会員ならばメールが送られてくるが、非会員ならば (<http://www.asj.or.jp/tennet/archives/>) でアーカイブを見ることができる。

Jrec-in

- ・ <https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop?fn=1>
- ・ 研究職だけではなく、企業の求人や専門学校、高専などの求人情報について見ることができる。（国内求人）
- ・ 天文分野に限らず、自然科学全般や人文系の情報も見ることができる。

Astro Rumor-mill

- ・ <http://www.astrobetter.com/wiki/Rumor+Mill>
- ・ 毎年の公募情報と、公募結果について知ることができるサイト。
- ・ 自分がオファーをもらえなかった公募の採用者を知ることができるかも？

おまけ

海外研究会情報

- ・ 業績をアピールするには研究会が重要。国内の研究会の情報はtennetで見ることができる。
- ・ 海外の研究会の情報は (<http://www1.cadc-ccda.hia-ihp.nrc-cnrc.gc.ca/en/meetings/>) や (<http://www.conference-service.com/conferences/gravitation-and-cosmology.html>) で調べることができる。

ポスドクの給料や任期

- ・ ポスドクの平均的な月給は30万前後。国内学振PDだと、月36万で海外学振PDだと国によりますが40万前後らしいです。
- ・ ヨーロッパでは大体、年額20000~30000ユーロくらいです。物価を考慮してイギリスやスイスはもっと高いみたいです。
- ・ 任期は2年あるいは3年の場合が多いです。